

平成31年度 教育委員会 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
<p style="text-align: center;">教育次長 藪井 慎吾</p> 	<p>●使命 私たち教育委員会は、市長と教育委員会で構成する総合教育会議において、平成27年11月に策定された「瀬戸内市教育大綱」の五つの重点施策を柱とし、瀬戸内市の教育の一層の充実に向け、諸施策を実施します。</p> <p>●基本方針 重点1 「確かな学力、豊かな心、健やかな体の子どもの育成」 重点2 「子育て・保育・教育を通して子どもの成長を社会総がかりで支援」 重点3 「生涯にわたり学びあう市民への効果的支援」 重点4 「健康で活力に満ちた地域社会の形成」 重点5 「歴史・文化の保存・継承と活用の推進」 以上、五つの重点施策の推進に当たっては、教育が未来を担う人材を育成する基盤であるとの認識に立ち、関係機関と連携を図りながら、市民の期待に応えるよう教育行政を推進していきます。</p>	所管課	総務学務課・社会教育課・公民館 図書館・学校給食調理場		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			71人	171人	242人
		一般会計	2,319,294 千円		
		特別会計	千円		
		計	2,319,294 千円		
(うち人件費)	(506,619 千円)				

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
1 魅力ある学校施設の整備と学習環境の改善を図ります。	<p>学校施設整備 老朽化が進み、大規模改造や老朽改修が必要となっている学校が多くなっているため、緊急性に応じて計画的に実施します。さらに、学校施設長寿命化計画に基づき、バリアフリー化や省エネルギー化等も含めた施設整備を推進します。</p>	<p>邑久小学校の便所棟改修工事、プール改修工事、牛窓西小学校の特別教室棟防水改修工事など、学校施設の整備を年度内に計画的に実施します。また、学校施設内にある安全性に問題のあるブロック塀をすべて改修します。</p> <p>平成29年より行っている各教室へのエアコン整備を引き続き行います。今年度は、邑久小学校、今城小学校、美和小学校、国府小学校及び行幸小学校において実施し、8月末までに普通教室の空調整備率を100%にします。</p> <p>行幸小学校校舎大規模改造、牛窓東幼稚園園舎大規模改造を実施するため、仮設校舎、仮設園舎を12月までに整備します。</p>	<p>邑久小学校の便所棟改修工事を8月末に終え、新しく5台の洋式便器が設置されました。また、牛窓東小学校、美和小学校、牛窓西幼稚園、牛窓北幼稚園、今城幼稚園のブロック塀改修を終えました。現在、邑久小学校のブロック塀を改修しているところです。</p> <p>エアコンの整備については、夏季休業期間を中心に工事を行い、9月17日に普通教室の空調整備率が100%となりました。</p> <p>行幸小学校校舎大規模改造、牛窓東幼稚園園舎大規模改造は、仮設校舎、仮設園舎の賃貸借契約を締結しました。</p>	<p>邑久小学校のブロック塀改修工事を10月末に終えました。現在は、邑久小学校のプール改修工事と牛窓西小学校の特別教室棟防水改修工事を順次施工しているところです。</p> <p>行幸小学校、牛窓東幼稚園の仮設校舎、仮設園舎の設置を12月末に終え、3学期より授業などへの利用を開始しました。</p>	<p>邑久小学校のプール改修工事と牛窓西小学校の特別教室棟防水改修工事を3月末までに終え、今年度予定していたすべての工事を終えました。</p> <p>エアコンの整備と行幸小学校、牛窓東幼稚園の仮設校舎等の設置については、予定どおり実施しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
<p>児童生徒に安全で安心な給食を提供し、食育を推進します。</p>	<p>調理等業務の委託 長船学校給食調理場の調理・配送・洗浄業務を民間事業者へ委託します。</p>	<p>2学期から学校給食の調理等業務を委託により実施するため、6月に業者を決定し、準備を進めます。 最低必要調理員数を確保するとともに、衛生管理・安全管理の徹底を図ります。</p>	<p>8月1日から民間事業者者に調理等業務を委託し、1か月の準備期間ののち、9月2日から各学校園に給食を調理し提供しています。 調理員数については市直営時より多く配置できており、今までどおりのおいしくて安全な給食の提供ができています。</p>	<p>長船学校給食調理場の受配校の教職員・児童生徒に給食アンケートを実施しました。 給食について、「いつもおいしい」「おいしいことが多い」「普通」の回答は90%を超えており、直営のときと同じく、おいしい給食が提供できているという結果となりました。 調理員については、市が期待する人数となっていない状況です。事業者に対し、早急な人員配置を依頼しています。</p>	<p>長船学校給食調理場の調理等の業務委託を実施し、給食の提供を行うことができました。 調理員については、事業者に対し、来年度に向けて引き続き人員配置を依頼しています。</p>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
2	<p>関係部局・関係機関と連携しながら就学前から義務教育まで、個々の子どもの状況を把握して、必要とされる資質や能力を育みます。</p> <p>保幼小中の連携の強化 ・保幼小中の連携を密に行い、個々の子どもの課題や状況を把握した指導・支援を継続して行います。</p> <p>特別支援教育の充実 ・様々な支援が必要な子どもたちに対応するため、特別支援教育に基づいた授業改善と生徒指導を行います。</p> <p>学力向上のための事業の充実 ・学校力向上事業や学力向上プロジェクトチームの活用、教職員研修の充実によって、子どもたちに必要な力を育みます。</p> <p>地域学校協働活動の推進 ・各小・中学校に設置している協働本部で取り組んでいる地域学校協働活動を継続して推進するとともに、実施体制の強化を図ります。</p>	<p>・不登校の出現率を小学校で0.1、中学校で2.2以下にします。</p> <p>・学校園種を超えた研修、授業公開を年間5回以上行い、子どもへのよりよい関わりができるようにします。</p> <p>・自己肯定感をもち、高い学習意欲をもった児童生徒を8割以上にします。</p> <p>・恒常的に8割以上の児童生徒が、自分で計画を立てて家庭学習に取り組み、学習内容がわかる、できると感じている状況を継続します。</p> <p>・活動のキーパーソンとなる地域学校協働活動推進員のスキルアップを図るため、情報交換会や研修会を開催します。</p>	<p>・9月末現在の不登校の出現率は、小学校0.4、中学校で3.9です。</p> <p>・特別支援教育や道徳についての研修を4回実施しました。</p> <p>・自己肯定感をもち児童は約8割、生徒は約7割です。</p> <p>・計画的な家庭学習は小学生の約8割、中学生の約6割が実施し、授業の内容理解は小学生の約9割、中学生の約7割が肯定的な回答をしました。</p> <p>・5月に地域学校協働活動推進員協議会を開催し情報交換を行いました。また、6月に県教委が主催したレベルアップ講座に6名が参加しました。</p>	<p>・1月末現在の不登校の出現率は、小学校0.6、中学校で5.1です。</p> <p>・特別支援教育や道徳についての研修を5回実施しました。各学校園での取組を共有しています。</p> <p>・自己肯定感をもち児童は約8割、生徒は約7割です。9割の児童生徒が教員から承認されていると回答しています。</p> <p>・計画的な家庭学習の実施率は小学6年生が約75%で、学年が上がるにつれて減少して中学3年生では約50%になっています。</p> <p>・1月に1地域教育協議会で研修会を実施しました。また、先進地の現場で活躍されている方を講師にお招きした研修会を2月に開催するための準備を進めています。</p>	<p>・3月末現在の不登校の出現率は、小学校0.6、中学校で5.3です。小学校の登校支援員配置校では、新たな不登校の出現を抑制することができました。</p> <p>・学校園種を超えた研修や授業公開の実施が就学前から義務教育修了までを見通した教育活動につながっています。</p> <p>・抽出校において、授業の内容理解について小学生の約90%、中学生の約80%が肯定的な回答をしました。</p> <p>・2月に開催を予定していた研修会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため止む無く延期としました。次年度の上半期中には開催できるように再調整します。</p>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
	<p>・放課後や土曜日における子どもたちの学習機会の充実を図ります。</p>	<p>・裳掛小学校区において、放課後子ども教室を開設します。また、月に1回程度、土曜学習を実施します。</p>	<p>・裳掛小学校区において、放課後子ども教室を毎週水曜日と木曜日に実施しています。また、「もかけ自然体験会」と題して土曜学習事業を月1回実施しています。</p>	<p>・放課後子ども教室、土曜学習事業ともに、大きなトラブルなく計画通りに事業を進めています。</p>	<p>・放課後子ども教室は年間64回、土曜学習は年間9回、大きなトラブルもなく実施できました。</p>
3	<p>生涯学習機会の更なる充実を図るため、市民の学習ニーズを把握しながら、社会教育施設がそれぞれ機能を高めるとともに連携を図り、事業を推進します。</p> <p>「瀬戸内市立図書館サービス計画」に沿って、多くの市民が利用できる図書館サービスの充実を図ります。</p> <p>「第2次瀬戸内市子ども読書活動推進計画」に沿って、子どもの読書活動推進を図り、図書館の子育て支援サービスにもつなげます。</p> <p>認知症対策を含めた高齢者サービスと障害者サービスの推進を図ります。</p> <p>地域郷土学習事業の推進を図ります。</p>	<p>全館の登録率47%、実利用率を18%、貸出冊数を約334,000冊(住民1人当たり貸出冊数を9冊)、市民図書館の来館者数を190,000人としています。</p> <p>市民向けの絵本講座や保育職向けの絵本と発達に関する学習会を各3回開催します。また、子育て支援課や健康づくり推進課との連携事業を2回実施します。</p> <p>認知症や前期高齢者向け講座を2回開催します。また、音訳CDに点字装備を施します。</p> <p>郷土資料企画展のギャラリートを年4回、歴史文化講座を4回実施します。</p>	<p>全館の登録率49.7%、貸出冊数166,207冊(住民1人当たり4.5冊)、市民図書館の来館者数94,376人となっています。</p> <p>市民向け絵本講座を1回、子育て支援センターとの連携で「ママカフェ」を4回実施しました。</p> <p>地域包括支援センターとの連携で認知症カフェを1回実施しました。</p> <p>ギャラリートを3回、友の会との連携で歴史・文化財講座を8回実施しました。</p>	<p>全館の登録率50.7%、貸出冊数268,921冊(住民1人当たり7.3冊)、市民図書館の来館者数149,466人となっています。</p> <p>市民向け絵本講座を1回、子育て支援センターとの連携で「ママカフェ」を5回実施しました。</p> <p>地域包括支援センターとの連携で認知症カフェを1回実施しました。</p> <p>ギャラリートを4回、友の会との連携で歴史・文化財講座を11回実施しました。</p>	<p>全館の登録率51.2%、実利用率17.4%、貸出冊数321,117冊(住民1人当たり8.6冊)、市民図書館の来館者数176,067人となりました。</p> <p>市民向け絵本講座を1回、子育て支援センターとの連携で「ママカフェ」を5回実施しました。</p> <p>地域包括支援センターとの連携で認知症カフェを1回、独自に音読教室を1回実施しました。</p> <p>ギャラリートを4回、友の会との連携で歴史・文化財講座を13回実施しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
	<p>夢二のふるさと芸術交流プロジェクト3年目は、夢二コンクールなどをゆめトピア長船を拠点に委託事業として実施します。また、市民視点での企画や市民参加のコンサートなどは実行委員会主催事業として中央公民館で実施します。</p> <p>中央公民館、牛窓町公民館、長船町公民館の地域の特色を活かした文化芸術の地域資源を内外に情報発信します。また、多様な学習の機会を提供し、事業を実施します。</p>	<p>市の委託事業として夢二コンクール及びプレミアムコンサートなどを実施します。参加人数3,800人を目指します。</p> <p>実行委員会を中心に市民視点での企画やコンサートなどを実施します。参加人数3,000人を目指します。</p> <p>菊づくり講座など公民館主催事業を実施します。参加人数30,000人を目指します。地域資源を生かした海岸生物の現状調査の主催講座などを新たに立ち上げ、参加人数20人を目指します。</p>	<p>コンクール周知のためのプレミアムコンサートやスクールコンサート、市民企画のコンサートやイベントを実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレミアムコンサート3回 参加者955人 ・スクールコンサート14回参加人数報告待ち ・市民企画コンサート5回 参加者1,480人 <p>公民館主催事業を順次実施しています。また、新たに異文化交流事業や御朱印帳づくりの講座を企画し、実施しました。7月31日には牛窓の筵江海岸で海岸生物の観察会を実施しました(参加者26人)。</p>	<p>12月1日に第3回夢二コンクール予選を開催しました。当初の応募者は25名でしたが、台風により延期となったため、20名の出場となりました。課題曲、自由曲それぞれ1曲ずつを歌い上げ、10名が本選に進出されました。</p> <p>コンクール周知のための3回目のプレミアムコンサートは420人の参加がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールコンサート25公演 参加者数2,373人 ・市民企画コンサート13回 参加者5,160人 <p>牛窓筵江海岸の海岸生物の生息状況の観察を記録した。本年を基準に次年度の調査につながる観察会ができた。</p> <p>10月20日～11月17日に第33回備前長船菊花展を開催し、菊づくり講座生も出品し1年の成</p>	<p>2月2日に第3回夢二コンクール本選を開催しました。10名が出場し、課題曲1曲と自由曲を12分間で歌い上げました。第1位の三木麻衣子さんは聴衆者賞も合わせて受賞されました。</p> <p>実行委員会主催事業では、せとうち市民ミュージカルなど市民の提案事業が実施されました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で2事業が中止となりましたがプロジェクト全体では過去最多となる9,313人の参加人数になり、目標数値を達成しました。</p> <p>市民と日本 IT ビジネスカレッジの交流会を軽音楽器(ドラム)体験講座と合同開催しました。公民館の利用が少ない市内の青年層と外国人学生が演奏や音楽を通して、交流を深める機会となりました。(参加者17人)公民館主催事業の参</p>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
	<p>図書館との連携事業では、公民館や図書館に来館された市民が気軽に参加することができる事業を実施します。また、郷土資料などのものを図書館及び中央公民館で展示します。</p> <p>美術館との連携事業では、研修室で日本画教室を実施するとともに企画展の対話型鑑賞会も実施しま</p>	<p>オリーブの庭を利用した音楽コンサートや星の観察などの事業を年 1 回実施します。</p> <p>郷土資料や地域の話題に関する展示を年 2 回実施します。</p> <p>美術館と連携した日本画教室の参加人数30人を目指します。</p>	<p>7月13日に中央公民館ロビーで竹久夢二星空ゆかたファッションショーを実施しました（参加者180人）。オリーブの庭で星の観察を行う予定でしたが、雨天のため中止となりました。</p> <p>6月11日～8月18日に京橋船航路復刻記念写真展を各公民館のロビーで実施しました。また、7月から約2か月間、中央公民館1階ロビー展示ケースで喜之助の人形を展示しました。</p> <p>8月28日に日本画講座を実施しました（参加者18人）。ま</p>	<p>果を発表しました。11月14日に公民館初の夜の料理講座を実施したところ、定員を超えるほどの申し込みがあり好評でした（参加者18人）。</p> <p>10月27日の文化祭でせとうち子ども合唱団ティンカーベルによるオリーブの庭を使った野外ステージがあり、文化祭を盛り上げました。</p> <p>12月中旬から中央公民館1階ロビー展示ケースで空から見た中央公民館周辺の写真を展示しました。（写真データ提供：写真家 島隆諦氏）</p> <p>10月25日に牛窓東幼稚園で日本画体験講座を実施しまし</p>	<p>加人数は 27,574 人でした。</p> <p>6月25日の長船町公民館主催事業、うさぎの学校（未就園児親子対象）の終了後に移動図書館せとうちまーる号に来てもらいました。7組の親子が移動図書館や絵本に親しむことができました。</p> <p>喜之助フェスティバルで初披露となった巨大糸あやつり人形「喜いぼう」を図書館と公民館で公開展示しました。</p> <p>3月1日に予定していた日本画講座は新型コロナウイルス感</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
	す。 地域の身近な課題を解決するための事業を関係部署と連携して実施します。	関係部署と連携して空き家対策講演会などを年1回実施します。	た、日本画体験後、美術館長の解説で企画展を見学し、理解を深めることができました。 9月13日の高齢者学級で不動産の活用方法や、空き家、相続問題に関する講演を実施しました（参加者79人）。	た（参加者26人）。1月4日～15日の間、岡山天満屋で開催された院展会場前に作品を展示していただきました。 3月に実施予定の認知症サポーター養成講座に向けての準備を進めました。	染拡大の影響で中止となりました。次年度も子どもから一般まで日本画に親しむことができる講座を継続します。 3月7日の認知症サポーター養成講座は中止となりましたが、各区長や地域包括支援センターと連携を確認しました。
4	市民の健康づくりや体力づくりのため、市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができるよう、活動の場所と機会の提供を行います。 邑久スポーツ公園改修計画 既存のスポーツ施設の有効利用を図るため、利用者のニーズを把握するとともに、瀬戸内市子育て広場環境整備基本構想を基に策定した整備計画をふまえて、邑久スポーツ公園の改修計画を策定し、基本設計を作成します。 牛窓グラウンドトイレ改修工事 男女共用で和式の汲み取り型のトイレは、老朽化が著しく、衛生面も悪いことが現状であることから、改修工事を実施します。 牛窓体育館耐震診断業務 平成30年10月に体育館のひさしの部分のコンクリートがはがれ落ちたことから、利用中止となって	子ども広場の利用・事業計画及び基本設計を10月末までに完成させ、整備に向けた協議を進めます。 改修後は、洋式で簡易水洗型にし、衛生面を向上させるとともに、スロープの設置によるバリアフリー化を図り、グラウンドの利便性を向上させます。 耐震診断調査及び耐震補強計画案（構造実施設計は含まない）を作成するとともに、防水・屋根葺き材・外壁の調	関係部局や利用者、計7回の協議を行い、基本設計を10月末までに完成するよう進めています。 4月に入札を行い、6月に設計業者と契約した。関係者との協議により、合併浄化槽型のトイレを整備する方向で、9月末に設計が完了しました。 5月に入札を行い、7月に委託業者と契約し、調査を実施した。解体及び改修すると	令和2年度の実施設計に向けた予算要求を行うとともに、関係機関からの情報収集を進めています。 12月に監理および工事の入札を行いました。令和2年度の繰越工事で、6月までの完成を目指し今後の契約業者と協議を進めます。 10月に解体及び改修にかかる概算工事費用を算出しました。12月に建築物耐震診	令和2年度の実施設計に向け、予備指名入札の準備を行いました。 2月に工事監理委託および工事請負業者との契約を締結し、工事に着手しました。 3月に本業務の成果品が完成しました。この結果を基に、来年度早期に改修また

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
	<p>いる牛窓体育館について、安全性の確保を目的に、外観調査、コンクリート強度調査等を実施し、耐震安全性について診断します。また、診断結果を踏まえ、今後について検討します。</p>	<p>査、また、解体するとした場合の解体工事費用の算出を行います。</p>	<p>した場合のそれぞれの概算工事費用の算出を実施中であり、12月に岡山県の建築物耐震診断等評価委員会から結果を受け、これを基に方針を決定します。</p>	<p>断評価委員会の評価を受け、その結果から今後の方針を検討します。</p>	<p>は解体の方針を検討します。</p>
5	<p>古くから継承されてきた歴史遺産や伝統文化を保護、保存し、次の世代へ継承します。また、伝統文化や芸術にふれながら学習する機会の提供を行います。</p> <p>美術館では優れた美術作品に触れてもらう特別展、美術を楽しめるような企画展を開催し、美術をより身近なものとなるよう目指します。</p> <p>博物館では刀剣への興味を持たせ事業や体験講座を開催し理解を深めさせます。また、博物館施設及び周辺整備等の将来構想を策定します。</p>	<p>調査委員会において委員及び現地調査員による行事の補足調査を実施し、報告書の執筆・刊行を行います。</p> <p>美術館は、佐竹徳の常設展のほか、写実画で有名なホキ美術館コレクション展を中心とした特別展を3本、郷土作家である東原方僊、瀬戸内市ゆかりの新進作家である隠崎麗奈、炭田紗季の企画展、また、子どもが参加・企画する美術展などを実施します。目標入館者数：20,000人</p> <p>備前長船刀剣の里まつりを実施します。小刀製作講座を年間23回開催します。目標入館者数：44,000人 博物館は、夏季特別展「関の刀と備前刀（仮）」と、秋季</p>	<p>9月に調査委員会を実施し報告書原稿の執筆担当の確認や原稿量の報告等の指示をしました。</p> <p>美術巨匠逸品展ほか6本の企画展を開催 9月末の入館者数：8,852人</p> <p>企画展である夏季特別展「備前刀×美濃刀」と、テーマ展を開催 夏季特別展では、来館者数は7,280人。</p>	<p>12月に調査委員会を実施。報告書原稿を印刷業者に入稿しました。</p> <p>特別展として驚愕の超写実展ほか7本の企画展を開催 驚愕の超写実展での来館者数は10,979人 1月末の入館者数：22,987人</p> <p>企画展である秋季特別展「一文字と長船」と、テーマ展を開催 秋季特別展では、来館者数は11,052人。 この秋季特別展に合</p>	<p>3月末に報告書を刊行しました。</p> <p>本年度は特別展3本、企画展7本の計10本の展覧会を開催しました。入館者数は24,271人となりました。</p> <p>本年度はテーマ展3回、企画展2回の計5回行いました。小刀製作講座を年間22回開催しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
	<p>国宝「山鳥毛」購入活用に係る基本計画を策定し、山鳥毛里帰りプロジェクトを推進します。</p>	<p>特別展「一文字派と長船派(仮)」を開催します。また、館蔵品を中心としたテーマ展も年間3本実施します。</p> <p>山鳥毛里帰りプロジェクト基本方針に基づき、国宝「山鳥毛」の活用施策や備前長船刀剣博物館の改修案を取りまとめた基本計画を8月末までに策定します。</p>	<p>9 月末の入館者数：21,804 人(4 月頭の前年度企画展を含む)</p> <p>博物館の改修基本計画については、公開承認施設となるよう文化庁との協議を重ねたため9月末に策定しました。</p> <p>活用施策については、サポーターミーティングやプロジェクト会議で意見を徴するとともに活用アイデアを募集するコンテストを開催中。このため、基本計画の策定が遅れています。</p>	<p>わけて開催した山鳥毛特別陳列には5,541 人が来館。</p> <p>1 月末の入館者数：38,577 人(4 月頭の前年度企画展を含む)</p> <p>10 月と1月にプロジェクト会議を開催しました。</p> <p>10 月には備前長船刀剣博物館にて山鳥毛特別陳列を開催し、11 月には講演会を開催、またイベント等で PR するなど山鳥毛里帰りの意義や取組の普及・啓発を図りました。</p> <p>また、関係各課やプロジェクト会議で活用基本計画の協議を行い策定に向けて進めています。</p>	<p>入館者数は、43,753 人となりました。</p> <p>関係各課やプロジェクト会議委員等と協議を行い、活用基本計画を3月末に策定しました。</p>